

レバレッジ比率の構成に関する事項  
(2023年6月期)

1. 連結レバレッジ比率 (平成26年金融庁告示第7号、別紙様式第六号)

(単位:百万円、%)

国際様式(表2)の該当番号(注)	国際様式(表1)の該当番号(注)	項目	当四半期末 (2023年6月期)	前四半期末 (2023年3月期)
<b>オン・バランス資産の額</b>				
1		調整項目控除前のオン・バランス資産の額	10,764,310	9,408,897
1a	1	連結貸借対照表における総資産の額	10,871,131	9,507,573
1b	2	連結レバレッジ比率又は持株レバレッジ比率の範囲に含まれない子法人等の資産の額(△)	—	—
1c	7	連結レバレッジ比率又は持株レバレッジ比率の範囲に含まれる子会社の資産の額 (連結貸借対照表における総資産の額に含まれる額を除く。)	—	—
1d	3	連結貸借対照表における総資産の額から控除される調整項目以外の資産の額(△)	106,821	98,676
2	7	Tier1資本に係る調整項目の額(△)	64,434	59,861
3		オン・バランス資産の額(イ)	10,699,876	9,349,035
<b>デリバティブ取引等に関する額</b>				
4		デリバティブ取引等に関するRCの額に1.4を乗じた額	55,688	50,681
		デリバティブ取引等に関する再構築コストの額	—	—
5		デリバティブ取引等に関するPFEの額に1.4を乗じた額	32,103	27,592
		デリバティブ取引等に関するアドオンの額	—	—
		デリバティブ取引等に関連して現金で差し入れた証拠金の対価の額	—	—
6		連結貸借対照表から控除されているデリバティブ取引等に関連して差し入れた担保の対価の額	—	—
		連結貸借対照表から控除されているデリバティブ取引等に関連して現金で差し入れた証拠金の対価の額	—	—
7		デリバティブ取引等に関連して現金で差し入れた変動証拠金の対価の額のうち控除する額(△)	26,058	9,018
8		清算会員である銀行又は銀行持株会社が補償を義務付けられていない顧客との トレード・エクスポージャーの額(△)	—	—
9		クレジット・デリバティブのプロテクションを提供した場合における調整後想定元本の額	30,564	—
10		クレジット・デリバティブのプロテクションを提供した場合における調整後想定元本の額から 控除した額(△)	—	—
11	4	デリバティブ取引等に関する額(ロ)	92,298	69,255
<b>レポ取引等に関する額</b>				
12		レポ取引等に関する資産の額	—	—
13		レポ取引等に関する資産の額から控除した額(△)	—	—
14		レポ取引等に関するカウンターパーティリスクのエクスポージャーの額	164,550	151,135
15		代理取引のエクスポージャーの額	—	—
16	5	レポ取引等に関する額(ハ)	164,550	151,135
<b>オフ・バランス取引に関する額</b>				
17		オフ・バランス取引の想定元本の額	2,175,607	2,107,992
18		オフ・バランス取引に係るエクスポージャーの額への変換調整の額(△)	1,822,217	1,781,025
19	6	オフ・バランス取引に関する額(ニ)	353,390	326,966
<b>連結レバレッジ比率又は持株レバレッジ比率</b>				
20		資本の額(ホ)	900,346	810,258
21	8	総エクスポージャーの額((イ)+(ロ)+(ハ)+(ニ))(ヘ)	11,310,114	9,896,392
22		連結レバレッジ比率又は持株レバレッジ比率((ホ)/(ヘ))	7.96	8.18
		適用する所要連結レバレッジ比率又は所要持株レバレッジ比率	3.00	3.00
		適用する所要連結レバレッジ・バッファ率又は所要持株レバレッジ・バッファ率	—	—
<b>日本銀行に対する預け金を算入する場合の連結レバレッジ比率又は持株レバレッジ比率</b>				
		総エクスポージャーの額(ヘ)	11,310,114	9,896,392
		日本銀行に対する預け金の額	3,380,204	3,456,225
		日本銀行に対する預け金を算入する場合の総エクスポージャーの額(ヘ')	14,690,319	13,352,618
		日本銀行に対する預け金を算入する場合の連結レバレッジ比率又は持株レバレッジ比率 ((ホ)/(ヘ'))	6.12	6.06

(注)「国際様式の該当番号」とは、バーゼル銀行監督委員会により2014年1月12日に公表されたレバレッジ比率の枠組みと開示要件と題する文書の表1及び表2に記載された番号です。

2. 単体レバレッジ比率(平成26年金融庁告示第7号、別紙様式第三号)

(単位:百万円、%)

国際様式(表2)の該当番号(注)	国際様式(表1)の該当番号(注)	項目	当四半期末(2023年6月期)	前四半期末(2023年3月期)
<b>オン・バランス資産の額</b>				
1		調整項目控除前のオン・バランス資産の額	9,622,135	9,332,504
1a	1	貸借対照表における総資産の額	9,727,602	9,431,180
1b	3	貸借対照表における総資産の額から控除される調整項目以外の資産の額(△)	105,467	98,676
2	7	Tier1資本に係る調整項目の額(△)	52,535	50,870
3		オン・バランス資産の額(イ)	9,569,599	9,281,634
<b>デリバティブ取引等に関する額</b>				
4		デリバティブ取引等に関するRCの額に1.4を乗じた額	55,641	50,681
		デリバティブ取引等に関する再構築コストの額	—	—
5		デリバティブ取引等に関するPFEの額に1.4を乗じた額	29,353	27,592
		デリバティブ取引等に関するアドオンの額	—	—
		デリバティブ取引等に関連して現金で差し入れた証拠金の対価の額	—	—
6		貸借対照表から控除されているデリバティブ取引等に関連して差し入れた担保の対価の額	—	—
		貸借対照表から控除されているデリバティブ取引等に関連して現金で差し入れた証拠金の対価の額	—	—
7		デリバティブ取引等に関連して現金で差し入れた変動証拠金の対価の額のうち控除する額(△)	26,058	9,018
8		清算会員である銀行が補償を義務付けられていない顧客とのトレード・エクスポージャーの額(△)	—	—
9		クレジット・デリバティブのプロテクションを提供した場合における調整後想定元本の額	—	—
10		クレジット・デリバティブのプロテクションを提供した場合における調整後想定元本の額から控除した額(△)	—	—
11	4	デリバティブ取引等に関する額(ロ)	58,936	69,255
<b>レポ取引等に関する額</b>				
12		レポ取引等に関する資産の額	—	—
13		レポ取引等に関する資産の額から控除した額(△)	—	—
14		レポ取引等に関するカウンターパーティリスクのエクスポージャーの額	164,550	151,135
15		代理取引のエクスポージャーの額	—	—
16	5	レポ取引等に関する額(ハ)	164,550	151,135
<b>オフ・バランス取引に関する額</b>				
17		オフ・バランス取引の想定元本の額	2,091,303	2,120,682
18		オフ・バランス取引に係るエクスポージャーの額への交換調整の額(△)	1,756,484	1,782,506
19	6	オフ・バランス取引に関する額(ニ)	334,818	338,176
<b>単体レバレッジ比率</b>				
20		資本の額(ホ)	812,471	733,129
21	8	総エクスポージャーの額((イ)+(ロ)+(ハ)+(ニ))(ヘ)	10,127,905	9,840,201
22		単体レバレッジ比率((ホ)/(ヘ))	8.02	7.45
		適用する所要単体レバレッジ比率	3.00	3.00
		適用する所要単体レバレッジ・バッファ率	—	—
<b>日本銀行に対する預け金を算入する場合の単体レバレッジ比率</b>				
		総エクスポージャーの額(ヘ)	10,127,905	9,840,201
		日本銀行に対する預け金の額	3,346,051	3,456,225
		日本銀行に対する預け金を算入する場合の総エクスポージャーの額(ヘ')	13,473,957	13,296,426
		日本銀行に対する預け金を算入する場合の単体レバレッジ比率((ホ)/(ヘ'))	6.02	5.51

(注)「国際様式の該当番号」とは、バーゼル銀行監督委員会により2014年1月12日に公表されたレバレッジ比率の枠組みと開示要件と題する文書の表1及び表2に記載された番号です。

3. 前四半期の単体レバレッジ比率との間に著しい差異を生じた原因

「評価・換算差額等及びその他公表準備金の額」の増加を主に、資本の額が増加したためです。